

# 感染状況・医療提供体制の分析(6月16日公表)

【岡山県専門家有志】 詳細  
(東京都統括コメント参照) →



区分	モニタリング項目 公表の前週(月~日)の合計		前回の数値 (6月5日公表) 5月26日~6月1日	現在の数値 (6月12日公表) 6月2日~6月8日	前回との比較	分析コメント	
	感染状況	① 定点当たり 患者報告数 <small>(注:報告者数は、県内50定点医療機関において、1週間に診断した患者数。定点当たり数は、1医療機関当たりの、1週間での平均患者数。)</small>	報告数	35人	42人	↑	感染状況 コメント
定点当たり数			0.70人	0.84人	↑		
報告数に占める60歳以上の割合			34.3%	28.6%	↓	定点当たり新型コロナウイルス感染症(COVID-19)報告数は0.84人とやや増加。全国的に感染者数は減少傾向で落ち着いている。状況に応じたマスクの適正使用、適切な換気が必要。ハイリスクな方へはうつさないよう配慮を。  COVID-19による入院患者はなかった。少ないが、重症化する患者は継続的に発生。ハイリスク患者は早期診断・早期治療が必要。	
② 保健所別 定点当たり 患者報告数 <small>(注:定点医療機関は、地域により患者数や患者の年齢構成にばらつきがあり、地域別の単純比較は多少の問題があるが、同じ地域で時系列の変動を見て、流行の推移を見るには有用)</small>		岡山市保健所	0.61人	0.39人	↓		
		倉敷市保健所	1.33人	1.00人	↓		
		備前保健所	0.75人	1.00人	↑		
		備中保健所	0.40人	0.80人	↑		
		備北保健所	0.25人	3.00人	↑		
真庭保健所	0.00人	0.50人	↑				
美作保健所	0.40人	0.40人	→				
入院状況	③ 入院患者数 <small>(入院基幹定点サーベイランスより)</small>		3人	0人	↓	百日咳が流行しており注意が必要。基本的な感染対策はCOVID-19と同じ。伝染性紅斑や感染性胃腸炎も多い。	
	④ 人工呼吸器利用 <small>(入院基幹定点サーベイランスより)</small>		0人	0人	→		

\*入院状況については、基幹定点医療機関(5箇所)での入院基幹定点サーベイランスより取得。感染状況コメントの中に、医療提供体制に関するコメントも付記します。